

実習タイトル	公開臨湖実習 3 「堆積環境調査実習—地層や地形の形成プロセスから過去を知るための観察・分析法」		
<p><実習内容> 潮来市にある水圏環境フィールドステーションの周辺をフィールドとして、4泊5日の実習を行う。過去の環境変化を復元する手がかりとなる地層や地形を調べるための、様々な堆積物採取手法や調査分析手法を実践的に学ぶ。</p> <p><実習項目> さまざまな未固結堆積物の観察、サンプル採取、分析、水路実験などの体験を通して、地層・地形の形成過程や環境復元の方法を学ぶ。</p> (1) 第四系海成堆積物（下総層群）の観察・記載・柱状図作成 (2) 霞ヶ浦北浦における湖底堆積物の採取と観察 (3) レーザー回折式粒度分析装置を用いた堆積物の粒度分析 (4) 現世海浜でのジオスライサーおよびハンドオーガーを用いた簡易掘削と堆積物の観察 (5) 霞ヶ浦周辺の地形観察			
実習内容キーワード	堆積物、地層、地形、粒度分析、堆積過程、簡易掘削、霞ヶ浦、船上調査、生痕化石		
担当教員氏名・所属・役職名	山口直文（講師）・金子誠也（助教） 茨城大学 地球・地域環境共創機構 (GLEC)		
協力教員氏名・所属・役職名	なし		
対象学生・学年	学部2～4年生 (院生も可)	開講期間	2023年9月5日（火）～ 9月9日（土）
開講大学・施設名	茨城大学 GLEC・水圏環境フィールドステーション（水圏FS）		
施設の住所	〒311-2402 茨城県潮来市大生 1375		
電話	0299-66-6886	F a x	0299-67-5175
e-mail	suiken@ml.ibaraki.ac.jp	Web Site	http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/
交通案内	高速バス停留所「水郷潮来（東京駅から1時間20分、片道1850円）」から路線バス（約40分、200円）もしくはJR延方駅から路線バス（約10分、200円）で「大生原公民館前」下車、そこから水圏FSまで徒歩で約5分。		
費用	宿泊費と食費で約17,000円前後 宿泊先は公共研修施設レイクエコー（バスで10分）		
授業科目名	地質環境科学実習		
単位数	1単位 (院生の場合、所属大学院での単位認定不可)	定員数	5名程度
授業料の徴収について	国立・公立・私立大学を問わず不徴収。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。申し込み締め切りは6月30日（金）。定員に満たない場合は追加募集を行う。申し込み状況の問い合わせはE-mailで。 <u>新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催や中止となる可能性があります。開催の可否、実習内容、日程等については、当施設ホームページにて最新情報を必ず確認してください。</u>		
選抜結果連絡法	所属大学学務へ郵送、および申し込み学生へE-mailで通知。		